

キャラクター名  
半道 穂珈 (バンドウ ホノカ)

プレイヤー名

シンドローム	オルクス サラマンダー		ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	大学生
	オプション		年齢	19	性別	男
覚醒	生誕	衝動	加虐	初期侵食率	37	%
出自	天涯孤独	経験	仲間の死	邂逅	同志	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	34
肉体	2	1	3			6	行動値	4
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	3	0	0			3	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	6		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志		1	調達	3	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
レイジングブレイド	白兵	6r+3	6	12		ダメージ+2D10、1回/シーン、【行動値】-4

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
情報収集チーム	
コネ: 手配師	
ウェポンケース	
夏空色のミサンガ (思い出の一品)	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
秘密兵器	P	N		
玉野椿	P 連帯感	N 嫌気		
千尋	P 庇護	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 12    残り財産P: 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセ: サラマンダー	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	C値-[LV](下限7)							
炎神の怒り	2	3	メジャー	-	-	対決	-	
効果:	判定ダイス+[LV+1]、HP-3							
力の法則	2	4	オート	視界	単体	自動	100	
効果:	攻撃力+[LV+1]D10、1回/ラウンド							
炎陣	★	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	カバーリング、行動消費なし							
氷盾	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	G値+[LV*5]							
地獄耳	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	領域内で起こっていることを把握する							
熱感知知覚	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	熱を視覚で認知する							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

生まれた時からオーヴァードであり、それを当然として育ってきたチルドレン。所謂一期生と呼ばれる最年長のチルドレンで、玉野椿や高崎隼人と同世代。何かと『特別』な彼らと比べられることも多く苦勞していたが、今となっては頼れる同期として、志を同じくする者として、互いに研鑽し合う良い仲間である。日本支部所属のエージェントとして任務に携わるとともに、後続を育てる教官としても手広く活躍しており、何かと重宝される人材となっている。将来はチルドレンの教官として働くか、学校教員として働くか決めかねているが、どちらになろうと役に立てるために教育大学へ通っている。そういった将来像がしっかりしているからか、彼には覚醒したてのオーヴァードの教育や、現場に出てきたばかりのチルドレンの目付け役としての仕事はそれなりに多い。

彼にとって面倒を見ているチルドレンは家族同然であるのだが、それを強調するようになったのは2年半ほど前。生まれた時よりオーヴァードであった彼は赤ん坊の内にUGNに引き取られ、同じように育った子供たちと兄弟姉妹同然に育っていたのだが、6歳の頃に実弟が同じ施設に引き取られてきたことで彼の兄としての意識は大きく変化した。誰よりも優しく泣き虫な彼を守るためにも彼は努力し、そして養成施設を出る前から任務を与えられるような優秀な人材として育った。そこで半道穂珈という名を受け取り、人としての生き方を与えられたことに喜んだ。それが仇となることも知らずに。ある日任務から帰ってくれば、施設は赤赤とした炎に包まれており、家族も己の感情も、全てを喪った。施設はFHのとあるセルにより襲撃されたものであり、生きていた家族は一人としてはいしななかった。実弟の死体は発見されなかったが、辛うじて生きていた監視カメラの映像から拉致されたことを知った。それからというもの、彼からは何に対しても強い感情は抱けなくなり、表情は無表情と笑顔の二種類しかなくなった。

何をさせても人並み以上にはこなす器用さを持っているため、逆にそれを皮肉として呼ばれることもある。また常に笑っていることから、子供たちからは慕われてはいるのだが、それが怖いと言われることも多い。

ドルフィン、イルカなど、コードネームが長いため略称で呼ばれることもある。最近支部などに派遣されることも多いので、助っ人外国人パースを名乗ったりと笑いから入ることもある。